

2008 年度第 5 回 PSLX 技術部会 & OASIS PPS-TC 第 24 回 F2F (Face-to-Face) meeting 合同会議 議事録 (案)

日時：平成 20 年 12 月 11 日 (木) 14:00~18:00

場所：(財) 製造科学技術センター 第 1 会議室

(東京都港区虎ノ門 3-11-15 SVAX-TT ビル 3 階)

出席者：西岡 (PSLX/法政大学)、野本 (PSLX/構造計画研究所)、岡宗 (PSLX/MSTC)、佐藤 (個人/日揮)、水谷 (日本ユニシス)、福市 (PSLX/メモリーデータベース)、馬場 (PSLX/早稲田大学)、和田 (PSLX/テクノラジャパン)、加藤 (MASP)

議題：

(1) 前回議事録の確認

前回議事録の内容を承認した。ただし、内容については、再考の必要性があるとの意見があった。

(2) PSLX プラットフォーム計画の進捗報告

2つのコンポーネントを開発中 (基本仕様と動作確認をほぼ終えた状態)

PSLX の実装仕様書を策定し、来週開催のプラットフォーム委員会にてレビューする予定

【追加議事】前回議事録でトランザクション ID の利用について仮決めしてあるが、その内容を踏襲していない。→委員会として新しい実装にもとづく仕様を承認する。

異なっている点：

- 通信レベルのトランザクション ID とドキュメントレベルのトランザクション ID が 2 つ存在する。前回議事録でいう transportId, queueName, provider は、PPS.MsgQueue 内部で実装し外に見えない。
 - PPS.Documents (業務ドキュメント) の設定に関しては、transactionId は、一回のメッセージ内 (Transaction 内) で統一していなければならない。また、送信者 (SenderId) も統一していなければならない。
 - アクションはトランザクション単位ではなく、ドキュメント単位に設定する。
 - 確認要求 (Confirm) はドキュメント単位ではなく、トランザクション単位とする。
 - ・ ・ ・仕様としては以下の記述を追加する
- 1) 同一のトランザクションに所属する業務ドキュメントは、すべて同一の transaction 属性値、confirm 属性値、sender 属性値をもっていなければならない。
 - 2) 実装 API として、トランスポート層、トランザクション層、ドキュメント層の 3 階層のオブジェクトを持てるように工夫することとした。(複数のトランザクションを一回のトランスポートで対応可能とする。)

(3) コメント対応

コメントについて議論した。議論の内容をもとに、パート2、パート3の改定版を作成しアップする。(アクションアイテム：西岡)

—————コメント対応 (ここから)

コメント1：

【現状】照会、修正、削除において、ボディ部で業務オブジェクトが設定可能とする方向で検討中。

【提案】冗長な記述を許すと、かえって実装が煩雑になるため、この提案を取り下げるべき。

→ 承認された。

<PPSTransaction

<OperationSchedule action="Change">

<Condition id="0002"/>

<Selection>

<Property name="operation-item-name"><Char value="aaa"/></Property>

</Selection>

</OperationSchedule>

<OperationSchedule action="Change">

<Condition id="0003"/>

<Selection>

<Property name="operation-item-name"><Char value="bbb"/></Property>

</Selection>

.... 変更する数だけ繰り返し

</OperationSchedule>

</PPSTransaction>

注) これより、PPS委員会仕様(2008.5.9版)へのコメント

コメント2：

【現状】パート3のプロファイル仕様において、業務プロパティの中からインデックスキーとなるべき業務プロパティの指定が必要。パート2で指定するIDと整合性がとれないため。

【提案】パート3の4.4節(19ページ)にあるAppProperty要素の定義で、key属性を追加し、関連する説明を記述する。また、スキーマをそれに合わせて改定する。

→承認された。街頭する箇所は、追ってまとめて更新版をアップする。

コメント 3 :

【現状】パート 2 の照会その他のメッセージにおいて、条件指定を行う場合の **condition** 属性の値の設定に対する記述がない。

【提案】パート 2 の 6.1.2 (業務プロパティによる選択、26 ページ) において、**condition** に設定すべき候補として、**max, min, not** を明記し、その振る舞いについても規定する。

→仕様書に最低、**min, max, not** の解釈ができるように規約として記述する。ユーザが独自に制約を定義する場合は”**user:**”で始まる文字とする。

コメント 4 : (エディトリアル)

【現状】パート 2、P21, L2

<Select type = ...

【訂正案】

<Selection type= ...

コメント 5 : (エディトリアル)

【現状】パート 2、P20, 4.2.3 L3

特例されます。

【訂正案】

特定されます。

コメント 6 :

【現状】パート 2、7.3 節 (Condition 要素) において、ページ 36 で正規表現の構文ルールで解釈されるとあるが、正式な仕様の名称を書くべき。

【提案】PCRE(Perl Compatible Regular Expression)に準拠した記述とすること。

<http://www.pcre.org/>

コメント 7 :

【現状】パート 2、36 ページ。バージョン識別文字として、ユーザが設定できるものが任意だと、将来の拡張がこんなん。

【提案】設定できる文字を”**user:**”からはじまるものに限定する。

→OK

コメント 8 :

【現状】パート 2、36 ページ。スキーマにて、**multi** 属性があるが、これはパート 3 の記述 (**multiple**) と混乱する。

【提案】 multiple 属性に名称変更する。また、説明記述に、“この値は、パート3の仕様にしたがって定義されるプロファイルの内容と同じにしてください。”を追記する。

→OK

コメント9：

【現状】 パート2、36ページ。スキーマにて、multi 属性があるが、タイプが整数となっている。”unbounded”が設定できない。

【提案】 タイプを char に変更。

→OK

コメント10：

【現状】 パート2、37ページ。count 属性と offset 属性の説明が不適切。

【提案】 “または選択された業務オブジェクト数”の部分を削除。また、count 属性について、0の場合は無限大を表すことを明記する。

→OK

コメント11：

【現状】 パート2、39ページ。value 属性の扱いがあいまいである。

【提案】 “プロパティ値を表現してください。”の部分を削除。また、“日時や数値の情報であるが、文字として表現する必要がある場合（たとえば Today など）を表すことができます。”を追加。

→OK

コメント12：

【現状】 パート2、3、3節で複合ドキュメントの組み合わせが Add,Change,Remove で禁止されている。

【提案】 これらの組み合わせを可能なように表4を変更する

→OK

—————コメント対応（ここまで）

（4）新しいPSLXプロファイルの策定

現在のプロファイルをベースに過不足を検証し、不足分を改造構造を考慮して補う必要がある。また、現在開発しているAPIにも準拠し、XMLとして実装可能な形で、プロファイルの構造を再定義する必要性が出てきた。

委員会として、現在のPSLXプロファイルの内容を見直し、将来のPSLXパート5（XMLスキーマの改定にフィードバックすることとした。

【スケジュール】

- 来週の PSLX プラットフォーム計画のレビューでドラフトバージョン1を提示
- 各社からのフィードバックをもとに2009年2月初旬にドラフトバージョン2を確定
- 最終的に2009年4、5月に内容をFIXする。

(5) その他

(ア) APSサミット報告

資料：

- (1) 前回議事録
- (2) コメント
- (3) PSLXプロファイル資料

次回日程：

2月12日(木) 14時～18時

以上